

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ファンケル

コード番号 4921 URL <http://www.fancl.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 成松 義文

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理ユニット長 (氏名) 江上 克彦

TEL 045-226-1200

四半期報告書提出予定日 平成21年8月11日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	24,064	△2.8	1,802	△19.8	1,808	△22.4	970	△12.6
21年3月期第1四半期	24,753	—	2,247	—	2,329	—	1,109	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	15.83	15.80
21年3月期第1四半期	18.11	18.10

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	85,901	71,178	82.4	1,154.68
21年3月期	85,309	71,242	83.0	1,155.74

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 70,794百万円 21年3月期 70,823百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00
22年3月期	—				
22年3月期(予想)		17.00	—	17.00	34.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	47,900	△1.4	2,950	△0.6	2,950	△5.9	1,350	0.3	22.03
連結累計期間									
通期	97,500	△0.5	7,300	9.5	7,300	5.2	3,400	27.7	55.48

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、7ページ【定性的情報・財務諸表等】4.「その他」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 65,176,600株 21年3月期 65,176,600株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 3,865,685株 21年3月期 3,896,949株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 61,282,616株 21年3月期第1四半期 61,260,570株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因により、これらの予想数値と異なる場合があります。次期の見通しについては、6ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国金融危機に端を発した世界的な金融・経済危機の影響を受け、企業業績の悪化による雇用などの先行きに対する不安が高まるなか、個人消費の低迷が続く厳しい経済環境となりました。

このような状況の下、化粧品業界は百貨店での販売が厳しい状況にあり、全体としては横ばいから下降傾向にあります。

また、健康食品業界は依然として調整局面が続くなかで、企業間格差がますます顕著になっております。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、化粧品関連事業に関しましては、前期にリニューアルしたマイルドクレンジングオイルなどのスキンケア製品が堅調に推移しましたが、栄養補助食品関連事業やその他事業が振るわず、24,064百万円(前年同期比2.8%減)となりました。損益面では、その他事業の損益は改善しましたが、化粧品関連事業におけるマーケティング費用の増加と、栄養補助食品関連事業の減収によって、両事業が減益になったことにより、営業利益は1,802百万円(前年同期比19.8%減)、売上高営業利益率は1.6ポイント低下し7.5%となり、経常利益は1,808百万円(前年同期比22.4%減)、売上高経常利益率は1.9ポイント低下し7.5%となりました。

四半期純利益は970百万円(前年同期比12.6%減)、売上高四半期純利益率は0.5ポイント低下し4.0%となりました。

(1) 化粧品関連事業

売上高

化粧品関連事業の売上高は12,786百万円(前年同期比1.7%増)となりました。

	平成21年3月期 第1四半期連結累計期間		平成22年3月期 第1四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
ファンケル化粧品	9,709	77.2	9,818	76.8	1.1
アテニア化粧品	2,674	21.3	2,539	19.9	△ 5.0
その他	194	1.5	428	3.3	119.8
合計	12,578	100.0	12,786	100.0	1.7

	平成21年3月期 第1四半期連結累計期間		平成22年3月期 第1四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	6,615	52.6	6,644	52.0	0.4
店舗販売	4,394	34.9	4,238	33.1	△ 3.6
卸販売他	1,568	12.5	1,903	14.9	21.3
合計	12,578	100.0	12,786	100.0	1.7

ファンケル化粧品は、前期にリニューアルしたマイルドクレンジングオイルが好調に推移したことに加え、その他のスキンケア製品も堅調に推移し、9,818百万円(前年同期比1.1%増)となりました。

アテニア化粧品は、お客様数の減少により、2,539百万円(前年同期比5.0%減)となりました。

販売チャネル別では、通信販売が6,644百万円(前年同期比0.4%増)、店舗販売は4,238百万円(前年同期比3.6%減)、卸販売他チャネルは海外向けが好調で1,903百万円(前年同期比21.3%増)となりました。

営業損益

損益面では、広告宣伝費などのマーケティング費用が増加したことにより、営業利益は1,790百万円(前年同期比20.1%減)、営業利益率は前年同期に比べ3.8ポイント低下し14.0%となりました。

(2) 栄養補助食品関連事業

売上高

栄養補助食品関連事業の売上高は6,766百万円(前年同期比9.4%減)となりました。

	平成21年3月期 第1四半期連結累計期間		平成22年3月期 第1四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	3,305	44.3	3,023	44.7	△ 8.6
店舗販売	2,066	27.7	1,825	27.0	△11.7
卸販売他	2,093	28.0	1,918	28.3	△ 8.4
合計	7,466	100.0	6,766	100.0	△ 9.4

製品面では、美時など中高年のお客様向けサプリメントやビューティーサプリメントは好調に推移しましたが、ビタミン、ミネラルなどそれ以外の製品群の売上減少をカバーするには至りませんでした。

販売チャネル別では、通信販売は3,023百万円(前年同期比8.6%減)、店舗販売は1,825百万円(前年同期比11.7%減)、卸販売他チャネルは1,918百万円(前年同期比8.4%減)となりました。

営業損益

損益面では、原価率は改善しましたが売上が減少したことにより、営業利益は705百万円(前年同期比25.0%減)、営業利益率は前年同期に比べ2.2ポイント低下し、10.4%となりました。

(3) その他事業

売上高

その他事業の売上高は4,510百万円（前年同期比4.2%減）となりました。

	平成21年3月期 第1四半期連結累計期間 (百万円)	平成22年3月期 第1四半期連結累計期間 (百万円)	伸び率 (%)
発芽米事業	1,001	776	△ 22.4
青汁事業	915	913	△ 0.2
いいもの王国通販事業	1,894	2,005	5.8
その他の事業	897	815	△ 9.1
合計	4,709	4,510	△ 4.2

発芽米事業は、前期好調であった業務用が減少したことなどにより、売上高は776百万円（前年同期比22.4%減）となりました。

青汁事業は、粉末タイプは堅調に推移しましたが、冷凍タイプは減少し、913百万円（前年同期比0.2%減）となりました。

いいもの王国通販事業は、カタログでの販売が好調に推移し、2,005百万円（前年同期比5.8%増）となりました。

その他の事業は、雑貨、肌着ともに振るわず、815百万円（前年同期比9.1%減）となりました。

営業損益

損益面では、売上は減少しましたが、経費の効率化を行い営業損失は前年同期に比べ69百万円縮小し、193百万円となりました。

【ご参考：業態別店舗数】

	平成21年6月末	前期末比
ファンケル銀座スクエア	1	—
ファンケルショップ(次世代店舗)	16	+ 2
ファンケルハウス	91	△ 2
ファンケルハウスJ	68	—
元気ステーション	5	—
アテナショップ	13	—
その他	3	—
合計	197	—

2. 連結財政状態に関する定性的情報

資産は、前連結会計年度末に比べ591百万円増加し、85,901百万円となりました。この要因は、流動資産の増加359百万円及び固定資産の増加232百万円であります。流動資産の増加の主な要因は、受取手形及び売掛金の増加233百万円、たな卸資産の増加132百万円であります。固定資産の増加の主な要因は、有形固定資産及び無形固定資産の償却による減少があったものの、FANCL INTERNATIONAL, INC. の増資などにより関係会社株式の取得をしたためであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて656百万円増加し、14,723百万円となりました。この要因は、流動負債の増加706百万円と固定負債の減少49百万円であります。流動負債の増加の主な要因は、法人税等の支払いによる未払法人税等の減少があったものの、仕入債務や賞与引当金が増加したためであります。固定負債の減少の主な要因は、退職給付引当金の減少と親会社の役員退職慰労金の支給により固定負債のその他が減少したためであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて64百万円減少し、71,178百万円となりました。この主な要因は、四半期純利益970百万円による増加があったものの、配当金の支払額1,041百万円により減少したためであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比較して0.6ポイント低下し82.4%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は26,467百万円となり、前連結会計年度末より265百万円減少いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,890百万円(前年同期は1,431百万円の収入)となりました。この内訳の主なものは税金等調整前四半期純利益1,772百万円、減価償却費738百万円などによる増加と、法人税等の支払額1,310百万円などによる減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,318百万円(前年同期は799百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出563百万円、無形固定資産の取得による支出290百万円、関係会社株式の取得による支出508百万円による減少であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は896百万円(前年同期は663百万円の支出)となりました。これは主に、配当金の支払額875百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては概ね計画通り推移しており、現時点では前回発表(平成21年5月1日)の業績予想に変更はありません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

前第1四半期連結累計期間において、特別損失の「固定資産除却損」に含めていた「店舗閉鎖損失」は、金額の重要性が増したことから当第1四半期連結累計期間より区分掲記しております。

なお、前第1四半期連結累計期間の特別損失の「固定資産除却損」に含まれる「店舗閉鎖損失」は5百万円であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,441	16,209
受取手形及び売掛金	10,201	9,967
有価証券	11,025	13,520
商品及び製品	3,228	3,060
仕掛品	77	68
原材料及び貯蔵品	2,996	3,041
その他	2,681	2,418
貸倒引当金	△164	△157
流動資産合計	48,487	48,128
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,666	21,650
減価償却累計額及び減損損失累計額	△11,032	△10,832
建物及び構築物(純額)	10,634	10,817
機械装置及び運搬具	5,431	5,385
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,110	△4,018
機械装置及び運搬具(純額)	1,321	1,366
工具、器具及び備品	5,998	5,961
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,955	△4,899
工具、器具及び備品(純額)	1,043	1,061
土地	10,971	10,971
リース資産	257	194
減価償却累計額及び減損損失累計額	△49	△33
リース資産(純額)	208	160
その他	120	51
有形固定資産合計	24,300	24,430
無形固定資産		
のれん	850	898
その他	2,955	3,075
無形固定資産合計	3,805	3,973
投資その他の資産	9,307	8,777
固定資産合計	37,413	37,181
資産合計	85,901	85,309

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,459	3,206
未払法人税等	1,098	1,477
賞与引当金	1,499	1,021
ポイント引当金	1,337	1,353
その他	4,770	4,400
流動負債合計	12,165	11,459
固定負債		
退職給付引当金	1,789	1,818
役員退職慰労引当金	65	60
その他	702	728
固定負債合計	2,557	2,607
負債合計	14,723	14,066
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,795	10,795
資本剰余金	11,706	11,706
利益剰余金	53,212	53,288
自己株式	△4,921	△4,960
株主資本合計	70,792	70,828
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6	△0
為替換算調整勘定	△4	△4
評価・換算差額等合計	1	△5
新株予約権	274	310
少数株主持分	109	109
純資産合計	71,178	71,242
負債純資産合計	85,901	85,309

(2) 四半期連結損益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	24,753	24,064
売上原価	7,987	7,969
売上総利益	16,765	16,094
販売費及び一般管理費	14,518	14,292
営業利益	2,247	1,802
営業外収益		
受取利息	30	24
受取配当金	1	1
雑収入	76	31
営業外収益合計	108	57
営業外費用		
支払利息	0	—
為替差損	9	37
雑損失	16	13
営業外費用合計	26	51
経常利益	2,329	1,808
特別利益		
固定資産売却益	5	0
償却債権取立益	7	—
その他	0	0
特別利益合計	13	0
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	8	1
減損損失	178	13
店舗閉鎖損失	—	6
その他	40	14
特別損失合計	226	36
税金等調整前四半期純利益	2,115	1,772
法人税、住民税及び事業税	1,119	952
法人税等調整額	△118	△150
法人税等合計	1,000	801
少数株主利益	5	0
四半期純利益	1,109	970

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,115	1,772
減価償却費	714	738
減損損失	178	13
株式報酬費用	35	19
のれん償却額	28	48
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4	14
賞与引当金の増減額(△は減少)	554	478
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△20	△16
退職給付引当金の増減額(△は減少)	39	△29
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	0	5
受取利息及び受取配当金	△31	△25
支払利息	0	—
為替差損益(△は益)	△0	△63
投資有価証券評価損益(△は益)	—	6
固定資産売却損益(△は益)	△5	0
固定資産除却損	8	1
売上債権の増減額(△は増加)	△154	△234
たな卸資産の増減額(△は増加)	531	△132
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△353	△188
仕入債務の増減額(△は減少)	△315	253
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△35	572
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△118	△54
その他	△0	7
小計	3,165	3,187
利息及び配当金の受取額	18	13
利息の支払額	△0	—
その他の収入	0	—
法人税等の支払額	△1,753	△1,310
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,431	1,890

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△999	△998
有価証券の売却及び償還による収入	999	997
有形固定資産の取得による支出	△697	△563
有形固定資産の売却による収入	70	23
無形固定資産の取得による支出	△180	△290
関係会社株式の取得による支出	—	△508
貸付金の回収による収入	4	12
その他の支出	△20	△77
その他の収入	24	86
投資活動によるキャッシュ・フロー	△799	△1,318
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△12	—
自己株式の処分による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△647	△875
その他	△3	△19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△663	△896
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	58
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△23	△265
現金及び現金同等物の期首残高	24,060	26,732
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,037	26,467

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	化粧品 関連事業 (百万円)	栄養補助食品 関連事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	12,578	7,466	4,709	24,753	—	24,753
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	12,578	7,466	4,709	24,753	—	24,753
営業利益又は営業損失(△)	2,240	940	△263	2,917	(669)	2,247

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な製品

(1) 化粧品関連事業……………各種化粧品の通信販売・店舗販売・卸販売

(2) 栄養補助食品関連事業…各種栄養補助食品の通信販売・店舗販売・卸販売

(3) その他事業……………雑貨・装身具類・肌着類・健康器具・家庭用雑貨の通信販売、発芽米事業、青汁事業他

3 会計処理の方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用しております。

上記の会計基準の適用に伴い、従来の方法によった場合に比べて、営業利益は化粧品関連事業17百万円、栄養補助食品関連事業47百万円、その他事業8百万円それぞれ減少しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	化粧品 関連事業 (百万円)	栄養補助食品 関連事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	12,786	6,766	4,510	24,064	—	24,064
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	12,786	6,766	4,510	24,064	—	24,064
営業利益又は営業損失(△)	1,790	705	△193	2,301	(499)	1,802

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な製品

(1) 化粧品関連事業……………各種化粧品の通信販売・店舗販売・卸販売

(2) 栄養補助食品関連事業…各種栄養補助食品の通信販売・店舗販売・卸販売

(3) その他事業……………雑貨・装身具類・肌着類・健康器具・家庭用雑貨の通信販売、発芽米事業、青汁事業他

b. 所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

全セグメントの売上高の合計額に占める日本の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

全セグメントの売上高の合計額に占める日本の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外売上高

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。